

駅舎清掃続け16年

中日教育賞の朝桜中福祉会(東近江)



中日教育賞を受賞した東近江市立朝桜中福祉会の村田朋久会長(左)と福井淳子顧問(右)。名古屋市中区の中日パレスで

「後輩に引き継ぐ」村田会長

第四十二回中日教育賞の贈呈式が二十二日、名古屋市中区の中日パレスで行われ、県

内からは、十六年前から学校福祉会が受賞し

た。出席した福祉会長の

三年村田朋久君は「先輩から受け継いだことを、後輩たちにもしつかり引き継ぎたい」と気持ちを新たにしていた。駅舎清掃のきっかけは、スプレーによる悪質な落書きとごみの散乱だった。地域の玄関口の惨状に心を痛めた有志七人が落書きをペンキで塗り直し、ごみを拾い集めた。ボランティアによる活動は年々、参加者が増え、年どが参加し、住民も加わった。福祉会顧問の福井淳子教諭は「人間性をはぐくむ活動として、これからも地域の方と一緒に頑張っていきたい」と受賞を喜んでいた。

(前嶋英則)